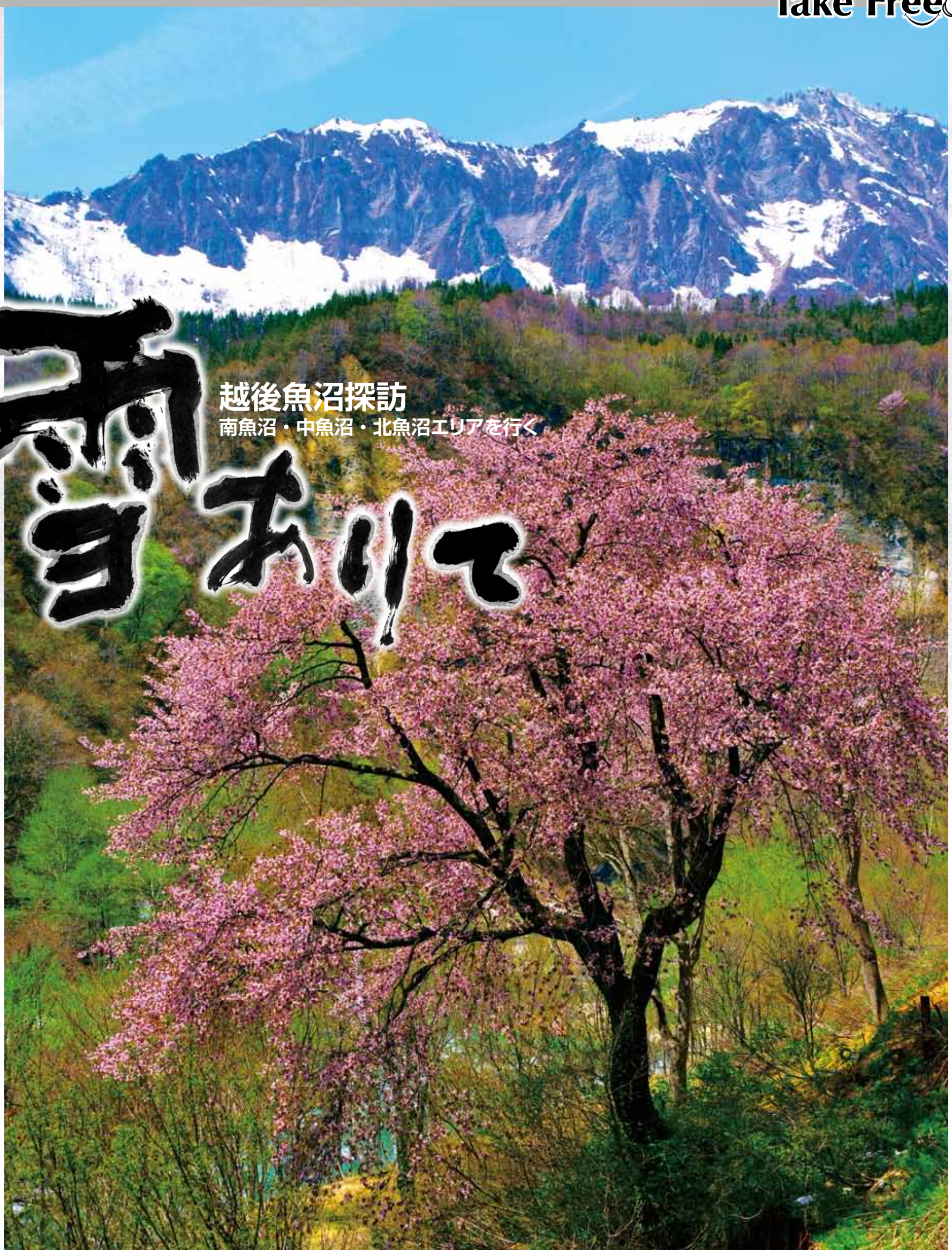
Take Free フリーペーパー無料



雪ありて

越後魚沼探訪

南魚沼・中魚沼・北魚沼エリアを行く

雪中に糸となし、雪中に織り、雪水にそそぎ、雪上に晒す　雪ありて縮あり、
されば越後縮は雪と人と気力相半ばして名産の名あり　魚沼郡の雪は縮の親といふべし

鈴木牧之『北越雪譜』より

【写真】宮澤健二（日本写真協会、三軌会所属）残雪の烏甲山とオオヤマザクラ。かつて鈴木牧之も訪れた秋山郷の風景。

創刊号
2017年4月号

春満開 華やぐ雪国

❷・❸ 残雪と花々を愉しむ
春の妖精カタクリ、桜
ブナ林、芝桜

❹・❺ 特集 雪ありて山菜
自然の恵みを食す

❻ 魚沼の人
「石川雲蝶の足跡を追う」
中島すい子さん

事業所訪問
「魚沼産コシヒカリとそば」
一般財団法人 魚沼農耕舎

❼ 西山三十三番観音巡り

❽ 越後魚沼マップ

魚沼市・十日町市・
津南町・南魚沼市・
湯沢町そして周辺

越後魚沼

新緑は４月下旬頃から

坂戸山のカタクリ

待ちこがれた春の訪れ。南魚沼の山々は自然の恵みに満ちあふれます。

雪消えとともに淡い色で咲くカタクリは、花が終わると跡形もなく姿を消してしまうので「春の妖精」とも。多彩な山野草で山全体が彩られる**六万騎山**（見頃４月上旬～中旬）、坂戸城跡から山頂まで続くトレッキングコースで春の山野草が満喫できる**坂戸山**（見頃４月上旬～５月初旬）、**飯綱山**の古墳群を覆うカタクリ（見頃４月中旬～下旬）、**八海山**ロープウェー山麓駅周辺（見頃４月下旬～５月初旬）などが見どころ。

４月15日から５月１日までの毎週土、日、月曜日はカタクリ鑑賞のバスツアーも行われます。（主催ＮＰＯ六日町観光協会☎０２５・７７０・１１７３）

山々にまだ雪が残る４月、雪国の桜は一斉に開花します。各地で春の訪れを喜ぶ祭りが華やかに行われます。

※花の見頃は天候により変動

〈観光情報〉

南魚沼市観光協会
☎０２５・７８３・３３７７
湯沢町観光協会
☎０２５・７８５・５５０５

六万騎山のカタクリ

飯綱山のカタクリ

大崎ダムの鯉のぼり

上の原「お松の池」は桜の名所

湯沢高原

花まつり
ゆざわ

津南町の河岸段丘に「段丘桜」

十日町市と津南町を囲む丘陵地帯はブナの原生林が多く見られ、４月中旬から眩しい新緑に覆われます。**美人林**は樹齢90年ほどのスラリとしたブナの森で、写真愛好家に人気の高いビュースポットです。野鳥の宝庫として知られ12月まで毎月、探鳥会が開催されます。

日本三大峡谷 **清津峡**と、**秋山郷**の中津川渓谷では、新緑の見頃は４月下旬から５月中旬。岩肌と清流のコントラストが見事です。

十日町市は織物産業で栄えたところ。５月３日は「**十日町きものまつり**」で、中心市街地がきもの姿で溢れます。

津南町と長野県栄村の一帯に展開する「**苗場山麓ジオパーク**」では、中津川渓谷入口の「石落し」など全57のジオサイトで苗場山の火山活動や、日本一の河岸段丘など、大地の歴史を目の当たりにできます。

〈観光情報〉

十日町市観光協会
☎０２５・７５０・１２７７
津南町観光協会
☎０２５・７６５・５５８５
栄村秋山郷観光協会
☎０２５・７６７・２２０２

絨毯が敷き詰められたように芝桜が咲き誇る

魚沼市は、花と緑に囲まれたまち。GWまで滑れるスキー場や万年雪も見られる地域です。

関越自動車道・堀之内インター近く「**根小屋花と緑と雪の里**」は、約16万株の芝桜が圧巻。越後三山を望む高台にあります。芝桜まつりは5月6日～21日に行われます。開花状況は天候により変わります。（奥只見レクリエーション都市公園管理本部事務所浦佐管理事務所）☎025・780・4560）

小出公園では4月下旬頃は桜が、5月中旬頃は山つつじが見頃となります。（小出公園管理所 ☎025・792・3321）。入広瀬の**鏡ヶ池**では池に映り込む桜を楽しむことができます。（道の駅いりひろせ☎025・796・2500）

奥只見湖の湖上遊覧は5月下旬から運行。奥只見湖は貯水量6億㎥を誇る巨大な人造湖で、山並みが湖面に映り込み北欧を思わせる光景が楽しめます。尾瀬への入口、尾瀬口への定期船は6月1日から。

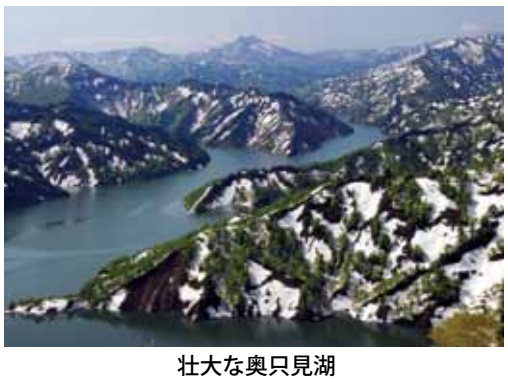
〈**観光情報**〉
魚沼市観光協会
☎025・792・7300

十日町市松之山の美人林

十日町きものまつり 5月3日

黄桜の丘桜まつり 4月29日

日本三大峡谷
清津峡
清津峡渓谷トンネル
（4月1日より営業）
☎ 025-763-4800


壮大な奥只見湖

奥只見湖遊覧船が行く

春スキーが楽しめる奥只見丸山スキー場

鏡ヶ池の桜

大湯山菜まつり
5月21日開催

2017年　春の宵
シャンソンの夕べ
CHANSON

出演
MIKAKO

日　時／**5月7日**㊐
午後5時　小屋開け
午後6時　開演
会　場／魚沼市 小出郷文化会館　小ホール
（座敷数限定自由席）
午後5時よりドリンクバーオープン
（飲み物・おつまみ）
入場料／前売券3,000円　当日券3,500円
主　催／越後魚沼ロータリークラブ
後　援／魚沼市

ピアノ
高島 正明

スプリング、ハズ、カム
落語家の柳家喬太郎が男手一つで娘を育てた父親を演じるヒューマンドラマ

日　時／**5月26日**㊎ ①19:00
5月27日㊏ ①10:00 ②14:00 ③19:00
5月28日㊐ ①10:00 ②14:00
会　場／魚沼市 小出郷文化会館　小ホール
入場料／一般1,000円
学生、シニア、友の会 他　800円
主　催／魚沼市小出郷文化会館
主　管／魚沼映画の専門店

お問合わせは **魚沼市小出郷文化会館**
〒946-0023 新潟県魚沼市干溝1848-1
TEL025-792-8811／FAX025-792-6776
■開館時間／9:00～22:00　■窓口業務時間／9:00～17:00
■休 館 日／毎週月曜日・12月28日～1月4日
（月曜が祝日の場合は次の平日）

龍言の建物は今から約200年前の庄屋名主や豪農の館を移築したものです。当時の屋敷の面影をを残しつつ、現代に受け継がれたこの建物はまさに芸術の一言。

風情ある庭園を眺めながら、静かにゆっくりと流れる時間の経過をお楽しみください。

温泉御宿 龍言

☎ 025-772-3470
新潟県南魚沼市坂戸79
http://www.ryugon.co.jp

魚沼平野と
８種類の至福の湯が楽しめる。

湯沢ICから10分
周辺観光地へのアクセスも良好！

魚沼平野を眺めることの出来る高台に位置し、山々が織なす四季折々の風情のなかで露天風呂をはじめ、地場産の薬草を使用した薬湯やジェットバスつきの内風呂など8種のお風呂が楽しめる。

この地では珍しく女性の方にご好評な塩釜サウナも併設。

露天風呂付客室からの眺望は最高の贅沢…

お部屋は和室・洋室・和洋室の3タイプの中からお選び頂け、特に和室は全室露天風呂付きでご好評頂いております。

お食事は越後もち豚や新潟県産の地のものを使用した調理長こだわりの料理をご堪能頂けます。

お隣別館「ワンワン倶楽部」は当地域でも、ペットと一緒に泊まれる数少ないホテルとして、愛犬と一緒に旅を満喫できる絶好のロケーションが最大の魅力。

ハツカ石温泉・ふれあいの湯
石打ユングパルナス
〒949-6372 新潟県南魚沼市石打字土堂946
TEL025-783-7888　FAX025-783-3535
■湯　殿／かぶり湯・内湯・薬草湯
露天岩風呂・打たせ湯
冷水浴・サウナ・塩サウナ
■入浴料／大人900円・小学生300円

の恵みを食す

カタクリの花

カタクリ

アサツキ

エビラフジ

コゴメ

オオバギボウシの花

ソバナの花

フキノトウの雄花

オオバギボウシ

ソバナ

フキノトウの雌花

雪に埋もれて小半年。最高気温が出た後に降る雪を「初雪」、降り積もって春まで在る雪が「根雪」です。地上に降り積もった雪の嵩（深さ）を「積雪」、一日に降り積もった量を「降雪量」、と呼び分けます。

降雪期間を通じて、一日の降雪量を積算して冬期間全体の雪の深さを指します。二十メートルに達すると「大雪」、その半分程度ならば「小雪」です。十日町小唄は「一夜三尺、一日五尺。よくもこんなに積もるわね」と歌っています。

「雪は恵みではあるが公平に降るものではない。屋混みの市街地には少なく、山里には多く降る」。私たちはそう思っています。

雪の恵みは野山に在るのです。節分を過ぎ雪が降り止んで春分を過ぎ日毎に日射しが強まると、尾根と沢では豊富な雪解け水を受けて緑が一斉に萌え出します。

根雪が全て消える「雪解」は五月初旬です。この里では大雪の春は「青物（あおもの）」が豊富に採れる、と昔から云われています。山野の植生の内、食用にする物が青物です。「青」は緑色を指すだけでなく、若々しい、という意味で、青春の青と同じです。「山菜（さんさい）」は近年に云われている言葉です。

蓄えていた越冬野菜が底を尽き、畠作の野菜が未だ育たないこの時節に賜る天然の野菜が青物です。私たちはこの青物が生育するために何一つ手を差し伸べず、肥料も遣らず世話もしていません。ただ感謝して採取しています。これは遠洋漁業に通じている面があると思います。

山菜を採取する野山はそのほとんどが個人の所有地です。従って、そこに入るには「許可」とか「入り会い権」が必要なわけですが、所有者の多くは自領に他者が入ることを厳しく監督規制してはいません。それは、入り会い地への道路整備作業や補修経費は地主だけでなく、広く地元の人々も分担しているからだ、と云えます。

「青物採り専門家」とか「山菜のプロ」は、採取した山菜を出荷して現金収入を得る人々です。大量の山菜は自領で採るもので、余所の地では採らないものです。余所から入って来る自家用車など、外部の人が野山に入るのを見つけて入り会い関係者かどうかを地元の人が問うこともあります。

山菜は誰が採っても良い道端の野草と同じではありません。外部から来た方は入り会い権を持つ地主の方に同行するのが最善でしょう。

青物採りの際には、根元、地下茎を損傷しないように叢がり生えているその周辺の数本だけを採ります。叢生の中心部の芽を必ず残します。その植物の種を保存するためです。

ゼンマイは「裸葉（らよう）」だけ取り、「実葉（じつよう）」（胞子葉。おとこぜんまい、と呼び

言葉は人、人は風土。物事の名は地方毎に異なります。一つの植物には名付け親が幾人もいます。生育している土地の風土、すなわち言葉と文化に基づいた呼び名が付きます。

たとえば、十日町地方で云うスッカンボ、トトンボ、は、「酸っぱい棒」、「尖った棒」という意味だと思います。標準和名は「イタドリ」。痛みを取るとの薬効があるといわれています。別名には、メイゲツソウ、タンジ、サイタナ、タジイ、サイタズマ。漢名は「虎杖」「黄薬子」。呼び名が多様であることは広く知られて利用されていることに通じています。

十日町地方でいうスッカシの標準和名は「スイバ」。別名スカンポです。古名はスシ（酸味を持つの意）。酸っぱい葉、という意味。言葉としてはスッカンボと同じ扱いを受けています。

物事の姿形を知らなくとも名を知ることは存在を認めること、由来と歴史を学ぶことです。「名」は、有益無益、推奨継承、を現しています。毒草、薬草、山菜、の呼び名は、大自然に感謝する文化であると思います。毒草と毒茸は犠牲者の上に伝えられた判定です。大切に受け継いで行きましょう。

玉川酒造

津南観光物産館・津南食彩館

津南高原の朝採り野菜や魚沼産コシヒカリ、雪下にんじん、ジュースなど、地元の農産品、特産品を販売。チィゴの地酒や名産のそばも豊富に揃う。館内にある食堂「とんかつ つまり」では、ジャンボとんかつが人気です。

美味しい地野菜が豊富な津南食彩館

ボリューム満点のジャンボとんかつ

新潟県中魚沼郡津南町芦ヶ崎乙203（R117号沿）
営業時間：9:00～18:00　定休日：水曜日
TEL:025-765-5008　FAX :025-765-2949
http://www.aji-y.com/

越後魚沼の厳しい雪の下で育った山菜―自然

ゼンマイ（天日干し）

ミツバアケビ（キノメ）の実

ヤブカンゾウの花

ミツバアケビ（キノメ）

ヤブカンゾウ

ゼンマイ

ミツバアケビ（キノメ）

イヌドウナ

トリアシショウマの花

ウド

ナンブアザミ

ミツバ

ワラビ

モミジガサ

ます）は採りません。「タラノキ」「コシアブラ」「ハリギリ」などは幹の頂の芽は採りません。糖尿病を抑える漢方薬として知られるタラノキを乱獲した結果、群生地が絶滅した例があります。

当地では「ミツバアケビ」の若芽を「キノメ」と呼びます。関東関西ではサンショウの若芽をキノメと呼びます。親しまれている植物の名は地方特有です。

キノメを摘む際には、雄花雌花を損傷しないように注意します。「ゼンマイ」「トリアシ（トリアシショウマ、ヤマブキショウマ）」「ワラビ」は地下茎を傷めないように柔らかく伸びたものの上部だけを採ります。

自分の手で採り自家で調理して食卓に載せる。この信頼と安全を併せ持つ野菜が春の青物です。

青物採りの重要点は、まず「毒草を知ること」です。山菜と混生していたり、姿形が酷似しているものを識別することが安全の基本です。青物と混同して中毒する毒草の例として主なものを掲げます。

コシアブラと混同しやすいウルシ。ウルイそっくりのベンケイソウ、ザゼンソウ。ノビルやアサツキ、ヤブカンゾウと間違える例の多いスイセン。タチシオデやキクザキイチゲと混同しやすいトリカブト。セリと間違えやすいドクゼリ。梅雨時に庭を彩るアジサイ、スズラン、フクジュソウ、は有毒植物です。花や葉を食卓に載せることはとても危険です。

次に、山菜の「旬を知ること」、そして「調理法」を知ること。

美味しい青物の第1類は、さっと茹でて冷水にさらしてすぐに食べるもの。タチシオデ、キノメ、ヨツバハギ、トリアシショウマ、ヤマブキショウマ、ミツバ、ウコギ、コシアブラ、タラノキ、ヤマフジ、など。

第2類は、山菜に含まれている「アク」、すなわち渋味苦味を除去するために前処理を要するもの。フキ、アザミ、ワラビなど。家庭でおこなう「アク抜き」には藁を焼いた灰をふりかけて熱湯を注ぐのが伝統的処方ですが、最近は藁灰に代えて「重曹」（重炭酸ナトリウム、重炭酸ソーダ）を使う処方が広まりました。

第3類は、熱湯に通した後、日光と日数を経てアクを不溶性に変成させるもの。ゼンマイとワラビがこれです。「干し柿」を作る工程に通じています。

文　岡田征六（十日町市中条在住）
写真　佐藤一善（十日町市松之山在住）
〃　里山科学館「森の学校」キョロロ

ディスカバー越後魚沼

美しい棚田が育む人・文化・自然・地域

魚沼地域を特徴づける傾斜地に連なる棚田は日本の原風景とも称され、その美しさから多くの人々の注目を浴びています。棚田の役割はなんといってもお米を作ることですが、棚田はそれ以外にも様々な役割を担っています。

棚田のある里山には水田の他に、草原や森、ため池、水路等の様々な環境が組み合わさった複雑な景観が作られています。このような景観は多様な生き物を育みます。水田やため池、水路はカエルや魚の住み家となり、それを目当てにキツネやイタチ等が集まります。棚田の畦には山菜や薬草を含む多様な植物が生育します。棚田に暮らす人々はこの複雑な景観が育む自然の恵みを受け取り、同時に棚田の管理を通じてそれらが生息しやすい環境を維持してきました。秋の恵みであるお米の稲わらは、縄をなったり、蓆（むしろ）を織ったり、わらぐつなどの履物を作ったりするなど、生活の道具の材料として利用されてきました。

棚田に暮らす人々は決して自然からの恵みを全て採集せず、恵みとなる生き物が生き残れるような工夫をし、得られた恵みを無駄なく利用してきました。自然の厳しい地域だからこそ、人々は自然と調和した、資源を無駄にしない文化を培ってきたのです。

一方で、機械化の難しさやため池等の維持にかかる手間、耕作者の減少により、棚田は耕作放棄され続けています。棚田の消失は棚田に暮らす人々が守ってきた風景、文化、自然の消失も意味しています。棚田の美しい風景を守るには、棚田と生きる人々の暮らしが維持されなければなりません。近年、従来から棚田が担っていた役割に加え、観光資源や環境教育の場、心を癒す場所として、その存在が見直されてきています。棚田の持つ様々な役割を再認識、再発見し、その「恵み」を糧として地域を育て、棚田と暮らす素晴らしさを次世代に繋げていきたいものです。

里山科学館「森の学校」キョロロ

薬効豊かな松之山温泉をゆっくり堪能。そして個室タイプの食事処では、妻有ポークを温泉熱で調理した新名物「湯治豚」など、地元の名産を使ったランチも楽しめます。

カラダが3℃
ココロが10℃あったまる！

ひなの宿 ちとせ
お食事処 松之山郷
新潟県十日町市松之山湯本49-1　TEL025-596-2525
ランチ／11:30〜14:00・温泉入浴／10:30〜15:00
温泉入浴・ランチのみ月曜休　http://www.chitose.tv/

温泉入浴＋ハンドタオル＋お食事で1,800円より

魚沼の人 ―石川雲蝶の足跡を追う―

観光バスガイド
中島すい子さん(62)
南魚沼市君帰在住

「越後のミケランジェロ」と称される天才彫刻師・石川雲蝶の作品と人柄に思いをして、その足跡を追い続ける毎日である。

東京生れ、若い日にバスガイドとして全国の観光地を回る。縁あって魚沼の人となり、地元の観光会社に勤務。そこから雲蝶との係わりが始まる。

バスツアーの添乗で訪れた寺で雲蝶作品に出会う。芸術的な興味というよりも、人間雲蝶に魅力を感じたのだそうで、それが今日まで続いている。

二〇一二年からNPO六日町観光協会主催の「石川雲蝶の作品を堪能するバスツアー」専属ガイドを務める。このツアーは一五年に「全国地旅大賞」特別賞に輝いた。

一四年春に『私の恋した雲蝶さま』を初出版。

この年は石川雲蝶生誕二百年に当り、魚沼市で記念行事が開催された。その中で古美術鑑定家の中島誠之助氏に面会し、励まされたことが不退転のライフワークを決心させた。

一五年に入り、作品DVDの制作や講演会を始めるなど活動を加速させ、秋には「南魚沼雲蝶会」を結成し会長に就く。

この頃から、魚沼地域には寺院や神社だけでなく民家にも雲蝶作品があることに思い当たり、手探りで発掘を開始した。これまでに六点を探し当てた。

魚沼の人たちは慎み深くて、自らは決して雲蝶作品が在るなどと言わない。仮に作品にたどり着いても、

発表を控えなければならない事例もある。

この数年、必至に探し求めているのは、名古屋あたりに流失したらしい六歌仙を描いた大作の欄間額。関係者も高齢なので何とか早くと気持ちは焦り、思い余って愛知県知事と、名古屋市長に手紙をしたためたという。

情熱の雲蝶ストーカー、がんばれ!!

ディスカバー越後魚沼

『謎の天才彫り師』とか『越後のミケランジェロ』などと呼ばれ、何世紀に一人現れるかどうかわからない神業的な作品を作り置きしている石川雲蝶。作品のみならず彼の人となりまでも知りたいと思うのは私だけだろうか。

雲蝶が彫り師としての技術を遺憾なく発揮するためには、そうさせてくれる周囲の環境がないと、どんな腕も宝の持ち腐れである。その点、この豪雪の地で村人との交流の中で生きる事は、雲蝶にとって最高の環境だったのだろうと思う。

魚沼で彫り上げた作品群は現代人を魅了し、人々は「問答無用の素晴らしさ」だと絶賛する。その一方で、圧倒するような豪快な深彫りでもなく、貴重な岩絵の具を惜しげもなく使い施したものでもない、人々との交流の中で遺した律儀な雲蝶を物語る作品がある。

一般には公開されていない、まだ誰の目にも触れていない、雲蝶が村人と交流を重ねた証となる作品がまだ多く残っているのだ。

子孫がひっそりと守り通している、そんな隠れた作品を掘り起し、代表作と同じように陽の光を当てたいと二年続きで山の麓の小さな集落を訪ね歩いている。

なんと有り難いことだろう!! 探し出した作品は先祖の言い伝えと共に、確実に子孫に伝えられていた。これぞ私の役得と感謝している。

今回紹介する作品は、西福寺の檀家のお宅で今の建具にはサイズが合わず、ずっと蔵の中で眠っていた四本障子である。

障子の桟は余りにも細く繊細で、百六十年も経っているため破損している部分も多いが、細かな所にまで丁寧な仕上げを施しているのは、さすが雲蝶。

この家のケヤキの大木を切り倒し、西福寺に寄進する作品を彫っていた雲蝶が寝泊まりしたというこのお宅。その時期に写真の四本障子を作ってもらったのだと当主は語っておられた。

石川雲蝶追っかけ
中島すい子

事業所訪問

一般財団法人 魚沼農耕舎

理事長 湯本 智
〒946-0216 新潟県魚沼市須原20-5
TEL025-797-2255 FAX025-797-2562

魚沼市の旧広神村、旧守門村、旧入広瀬村で活動する農業組織。本場の「魚沼産コシヒカリ」と「そば」を中心に扱う。

破間川の上中流域一帯で田畑約千枚、米が45ヘクタール、そばが30ヘクタールと広大な農地を耕している。最近は、耕作者がいなくなった農地を守ることも年々多くなってきた。

おいしい「魚沼産コシヒカリ」を創り出す努力を怠らない。長年、肥料農薬の抑制に苦労してきた結果、九割以上を新潟県特別栽培農産物の認証を受けるまでに育った。

山あいの小さな田んぼが多く、管理は大変だが、きめ細かな対応で高い評価を得ている。

品質を保つ上では、守門地区福山にある「峠の雪室」が大きな役割を果たす。保存能力は玄米に換算して60トン、劣化を防ぎ一年中おいしいお米が食べられる原動力だ。一般農家からの依頼も引き受ける。

米と並ぶ農耕舎の主力商品が「そば」である。

真夏の種まきは、事前の排水対策と、重い機械を背負っての体力勝負となる。十月下旬頃の収穫を楽しみに、スタッフたちの腕の見せ所という。

自社製粉によるそば粉を業務店に卸し取引店を増やしている。また乾麺や、さらに昨年夏からはパスタも発売された。

この「魚沼そばパスタ」は開発に二年を要し、さまざまな食べ方に対応できるように工夫して人気商品に育っている。

スタッフの出身地が、神奈川、青森、福岡など各地から広く集まっているのも特徴か。それぞれが、この地域の自然風土に親しみを感じているという。

神奈川出身の金子芳博さんが言う。「二十年前にこちらに来ました。雪は大変ではなかったですよ。むしろ雪があればこその四季の魅力と、活き活きした生活が楽しめています」

また、各地からの農業体験の受入にも親切に対応して喜ばれている。

小島さん　金子さん

■特別プレゼント

担当者小島綾子さんイチオシ、自慢の「魚沼そばパスタ」を5名様にプレゼントします!!

7ページに記載の編集部宛てお申し込みください。

「雪国まいたけ」の直売や
ふるさとのお土産が揃う店

美味しい雪国まいたけやえりんぎ、しめじをはじめ魚沼産コシヒカリなど地域のお土産品を販売する、雪国まいたけの直売・お土産処。
バイオセンター直送の新鮮な「雪国まいたけ・雪国えりんぎ・雪国しめじ」の他ではできない、もぎ取り販売も体験できます。

きのこもぎ取り体験販売が人気!

雪国まいたけ物産館
南魚沼市余川2968-1
TEL025-770-1231
営業時間／9:30～18:00

写真は人気の「きのこ汁定食」
※季節により内容が異なる場合がございます。

「雪国まいたけ」が味わえる
直営レストラン
レストラン雪国
南魚沼市余川2969-1
TEL 025-770-0818
営業時間／11:00～15:00(L.O)

Congratulations
これからの人生を共に歩んでいく決心をされた
おふたりの大切な結婚式
「運命の一着との出会いを」
心を込めてお手伝いをさせて頂きます

マリアージュ タカラ
小出店 0120-12-6290 open 09:30~18:00
長岡店 0120-37-8743 open 10:00~18:00
http://www.takara-hanayome.com/
定休日/水曜日

～新緑の春を観劇で楽しもう～
劇団戸田 特別公演!

2017年
5月1日(月)～
30日(火)
※3日・4日は休演
10:00開場・12:00食事・13:00開演

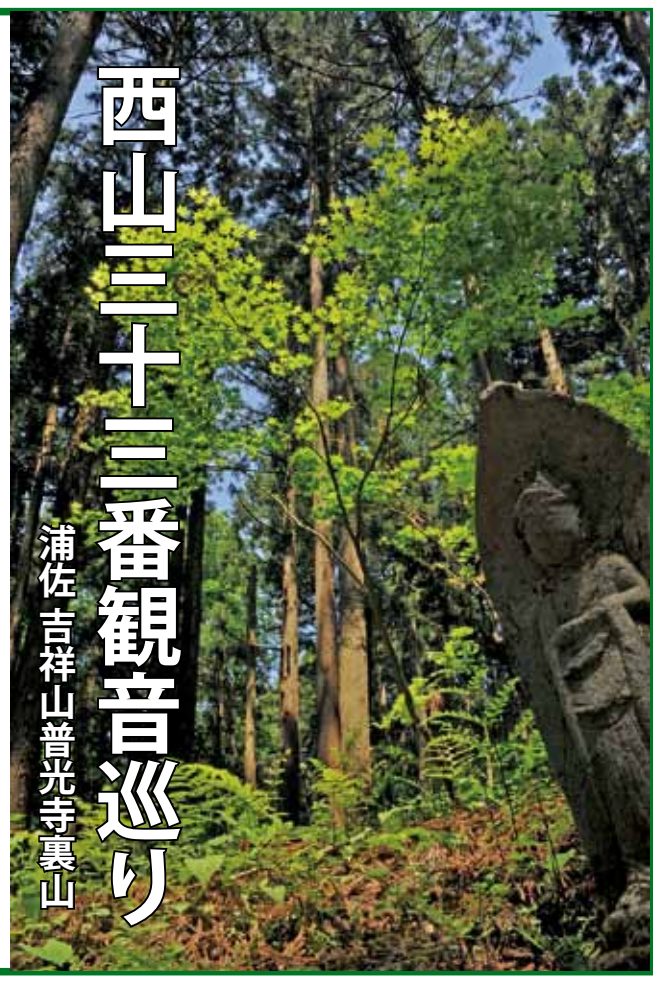
しっとり泣かせてくれる人情劇と、唄って踊る豪華ショーの二部構成でたっぷり2時間お楽しみ頂けます。芸題は3日替わりと、見飽きる事はありません!

●観劇お食事コース
お一人様 3,500円(税込)
●観劇ご入浴コース
お一人様 2,000円(税込)

今年は11月にも公演を予定しております。

雪国六日町温泉 政府登録国際観光旅館／日本観光旅館
真心一途の宿
ほてる木の芽坂
〒949-6636 南魚沼市六日町温泉木の芽坂
TEL025-773-3456㈹ FAX025-773-3460
http://www.kinomeht.co.jp/ E-mail：magokoro@kinomeht.co.jp

ご予約はお早めにお願い致します!



西山三十三番観音巡り

浦佐 吉祥山普光寺裏山

日本三大奇祭のひとつといわれる浦佐の「裸押合大祭」。その寺の裏山を歩く。

ざっと二百六十年程前、普光寺住職弘賢僧正が西国三十三番巡りから土を持ち帰り、霊場を再現したのが始まりという。

それぞれの観音様は旧浦佐村の家が代々お守りしてきた。晩春には、決まった日に一斉に山に入り、各々が割り当ての道普請をする。前の観音様から自分の家の観音様までの山道を整備するのである。距離の長い短いや、登り口や山頂という家もある。不公平のようだが、地域の助け合いで保たれて来た。

コースは沢登りから始まる。夏でも長靴の方がいいようだ。

頭上の岩をえぐって安置された石仏、石を組み上げて祀られた石仏、雪に備えてしっかりと屋根を構えた石仏、眼下を見下ろす場所の石仏。それぞれに守り続けてきた人たちの心が感じられる。

喧騒から離れて緑陰の中を歩き、ヤマツツジ、ソバナ、ウツボグサ、ヤマユリなどを見ながらの観音巡りは心楽しいことである。

大雪の年は雪の下をくぐって進むことも

一番ごとにお参りして巡る

木に守られて鎮座する石仏

眺めのよい場所で小休止

時期にはヤマユリが咲く

本紙発刊にあたって

江戸末期の塩沢の文人、鈴木牧之（ぼくし）は『北越雪譜』を著して雪国の姿を江戸に知らしめました。そこに曰く「雪中に糸となし、雪中に織り、雪水にそそぎ、雪上に晒す。雪ありて縮あり、されば越後縮は雪と人と気力相半ばして、名産の名あり。魚沼郡の雪は縮の親といふべし」

この中から紙名をいただきました。

まさにこのエリアは、織物に限らずあらゆる事柄が「雪ありて」こそ語れる魅力に溢れているようです。

新潟県の南部、魚沼地域は日本一のコシヒカリの本場として有名で、これだけの人口規模がありながら、これほどに雪の深い場所は世界に類を見ないといわれます。

私たちは、かつて「南」魚沼、「中」魚沼、「北」魚沼と呼ばれた三つのエリアを総じて、「越後魚沼地域」と称することにします。

「南」魚沼は現在の、南魚沼市と湯沢町です。

「中」魚沼は現在の、十日町市と津南町です。

「北」魚沼は現在の、魚沼市です。

これに、かつては中魚沼に含まれた小千谷市南部地域と、鈴木牧之に所縁の秋山郷を含めた地域をイメージしています。

これらの地域を舞台として自然風土、歴史文化、産業、まちづくり等の情報発信を進めて参ります。

本紙は、フリーペーパーです。配置してある場所でお手にとって、お持ちいただきたいと思います。

隔月刊で、偶数月に発行されます。

二万五千部を超える部数を、越後魚沼地域と、関係の深い東京方面等にも届けて参ります。

創刊号は如何でございましたか。今後ともご愛読いただきたいと思います。

また、ご感想などお寄せくださいますなら励みとなりますのでよろしくお願いいたします。

編集長　村山　久夫

○編集部
〒948-0065
新潟県十日町市高田町三丁目東304
株式会社みらい内
○メール
yukiarite@gmail.com
○発行所
北越印刷株式会社
六日町営業所
〒949-6680
新潟県南魚沼市六日町479番地3
テルエルクボタビル 3F
☎025-788-0891

ディスカバー越後魚沼

北越雪譜と鈴木牧之

本紙の紙名「雪ありて」は、『北越雪譜』の一くだりから採ったということで、その著者鈴木牧之について紹介しましょう。

牧之は、三国街道塩沢宿（現牧之通り）に、明和七年（一七七〇）に生まれ、天保十三年（一八四二）に七三才で没しました。本名は儀三治、牧之は俳号です。

牧之の家は鈴木屋といい、家業は地主兼商人でした。牧之が若いころは、名産の縮の商売をしており、牧之も一九才の時、八十反の縮を背負って三国峠を越えて江戸に商いに行きました。あいにくその年の夏は涼しくて、商いは思うようにいきませんでしたが、江戸滞在中、名所を訪ね、また書家の沢田東江の塾に入り、書を習いました。

江戸での滞在とその後の文人との交流で、江戸では「雪・月・花」に象徴されるように、雪は詩歌の題材や愛でる対象であり、雪が降ると、芸者を連れて雪見の船を楽しむ、茶会を催して特別な客を招くという話を知るのです。一年の半分を雪に閉ざされてきた牧之にとっては、それはカルチャーショックでした。これが、雪国の話を執筆しようという思いに結実したのです。

二十才の時、父から家業を譲られますが、そのころは毎年二十、三十両の不足を来す経営でした。しばらく学芸・風流を離れ、家業に専念、その後昼は家業、夜は執筆という日々になりました。

『北越雪譜』は七冊からなり一二五話が収められています。牧之は、現地を訪ね、話を聞き、文献を読み、史実に基づいて筆をすすめました。出版されると、たちまち評判になりました。読み物にあふれる江戸で、雪国の話は江戸人の興味をひいたのです。そして、江戸だけでなく古今東西のベストセラーになりました。

話の内容は、雪にまつわる風物、雪があるゆえの悲しい出来事・艱難辛苦、雪による恩恵など多岐にわたっていますが、牧之が四十年余をかけて『北越雪譜』の中で伝えたかったのは、雪中に生まれ、雪中に暮らし、雪中に一生を終える人々の生き様でした。

南魚沼市文化財保護審議会 会長
笛木 孝雄

鈴木牧之記念館
雪ありて『北越雪譜』あり
江戸時代のベストセラー
『北越雪譜』の著者、鈴木牧之。
館内には、雪に関する資料や
ユネスコ無形文化遺産に
登録された「越後上布」などを展示。

鈴木牧之座像
■開館時間/9:00～16:30
■休館日/毎週火曜日　※5/2は開館します。
■〒949-6408 南魚沼市塩沢1112-2 TEL 025-782-9860

南魚沼市トミオカホワイト美術館
富岡惣一郎「白の世界シリーズ」
「The four seasons」
2017年7月18日(火)まで開催中!!
四季折々の「白の世界」を展示。

「五色沼・春 A」
■開館時間/9:00～17:00（入館は16:30まで）
■休館日/毎週水曜日 ※5/3は開館します。
■〒949-7124　南魚沼市上薬師堂142　TEL 025-775-3646

観覧料20%OFF券（2館共通）本券提示で2名様 有効（H29.12.24まで）

旅情さそう日本秘湯を守る会の宿

肌に優しい
源泉掛け流し薬湯

渓谷を望む
宿泊客専用露天風呂
上杉謙信公ゆかりの薬師如来像のお告げによって掘り当てられた温泉。
採れたての山菜や川魚料理など、四季折々の味覚を心ゆくまで楽しむことができます。
清之津館（きよつかん）
新潟県十日町市清津峡湯元温泉
TEL025-763-2181　FAX025-763-2535
http//www.kiyotsukan.com

小嶋屋は
地産地消にこだわり
安心・安全な食の提供のため
地元の食材使用を
心がけています

健康にこだわり
十日町市枯木又の
古代米を使用した
「黒米へぎそば」

和亭店内：和の風情が安らぎと寛ぎのひとときを与える

越後湯沢店：電車の待ち時間などにご利用ください
上質の玄そばとつなぎの布海苔、そして初代重太郎より受け継がれるこだわりの製法によって生まれる小嶋屋のそばは、独特の歯応え、のどごしが身上の、越後のそばを代表する元祖十日町へぎそば処です。地元はもとより全国からご好評頂いております。
越後十日町 小嶋屋（こじまや）
●本　　店／十日町市本町４　TEL025-757-3155
●和(なごみ)亭／十日町市下島　TEL025-757-1513
●越後湯沢店／湯沢町（JR 駅構内）TEL025-785-2081
http://www.hegisoba.co.jp

Take Free フリーペーパー無料

雪ありて

越後魚沼探訪
南魚沼・中魚沼・北魚沼エリアを行く

越後三山（駒ヶ岳、中ノ岳、八海山）
春から初夏にかけて、越後三山に現れる残雪の模様「雪形」は、かつて農作業の開始を知らせる暦代わりでした。駒ヶ岳に駒（農耕馬）が現れるころ、里は田植えの最盛期を迎えます。

雪ありて美酒あり
山々から流れ出す雪融け水は清冽な伏流水となり、酒づくりに欠かせない仕込み水となります。雪は低温長期発酵に最適な環境を生み、高品質な清酒を醸し出してきました。これから旬を迎える雪国の山野菜と共に味わう魚沼の酒は格別です。

A いなもと
B 湯沢中里スキー場
C ベルナティオ
D 石打ユングパルナス
E 龍言
F 魚沼市小出郷文化会館
G 津南観光物産館
H ちとせ
I 木の芽坂
J マリアージュタカラ
K レストラン雪国
L 十日町小嶋屋
M 清津館
N 由屋
O 神宮寺
P ゆもとかん
Q 寿寿
R 竜神の館
S 千年の湯

玉川酒造
代表銘柄【玉風味（たまふうみ）】
創業 延宝元年（1673年）
住所 新潟県魚沼市須原1643
電話 025・797・2017

松乃井酒造場
代表銘柄【松乃井（まつのい）】
創業 明治29年（1896年）
住所 新潟県十日町市上野甲50―1
電話 025・768・2047

緑川酒造
代表銘柄【緑川（みどりかわ）】
創業 明治17年（1884年）
住所 新潟県魚沼市青島4015―1
電話 025・792・2117

魚沼酒造
代表銘柄【天神囃子（てんじんばやし）】
創業 明治6年（1873年）
住所 新潟県十日町市中条丙1276
電話 025・752・3017

八海醸造
代表銘柄【八海山（はっかいさん）】
創業 大正11年（1922年）
住所 新潟県南魚沼市長森1051
電話 025・775・3121

青木酒造
代表銘柄【鶴齢（かくれい）】
創業 享保2年（1717年）
住所 新潟県南魚沼市塩沢1214
電話 025・782・0023

高千代酒造
代表銘柄【高千代（たかちよ）】
創業 明治元年（1868年）
住所 新潟県南魚沼市長崎328―1
電話 025・782・0507

白瀧酒造
代表銘柄【上善水如（じょうぜんみずのごとし）】
創業 安政2年（1855年）
住所 新潟県南魚沼郡湯沢町湯沢2640
電話 025・784・3443

津南醸造
代表銘柄【霧の塔（きりのとう）】
創業 昭和29年（1954年）
住所 新潟県中魚沼郡津南町秋成7141
電話 025・765・5252

苗場酒造
代表銘柄【苗場山（なえばさん）】
創業 明治40年（1907年）
住所 新潟県中魚沼郡津南町下船渡戊555
電話 025・765・2011

酒蔵の情報は新潟県酒造組合の公式サイト（URL http://www.niigata-sake.or.jp/）を参照させていただきました。

雪と緑と河岸段丘が育んだ名水百選の温泉

県内最大級の露天風呂！津南町で温泉成分が一番濃い温泉です。農産物直売コーナーは津南高原の新鮮野菜が充実！地元産大豆を使用した、名水仕込みの手づくり豆腐や、津南牛乳で作るオリジナルジェラートはミルク感たっぷりで人気！

竜ヶ窪温泉 竜神の館
新潟県中魚沼郡津南町大字谷内7031番地 竜神の館 検索
TEL025-765-5888　FAX025-765-5877　定休日／毎週火曜日

ゆったり のんびり

五十沢（いかざわ）温泉 ゆもとかん
〒949-6775 新潟県南魚沼市宮17-4
http://www.ikazawaonsen.com ☎025-774-2876

岡本太郎画伯が愛した越後のそば処

厳選した地元そば粉を石臼でひき、打ち、精選されたそば粉を混ぜ合わせて布海苔でつなぐ自家製粉にこだわっています。そば通を唸らせる独特の舌ざわりと歯ごたえ、つるっとした喉越しは格別。高級絹織物の伝統産地、十日町が育んだ「そば」の味をご堪能ください。

故岡本太郎画伯書

石臼生そば由屋
十日町市犬伏3228　TEL025-758-2077
営業時間／10:30～19:00　定休日／火曜日

千手温泉でゆったりの～んびり夢心地

2つの個性的な露天風呂が週替りで楽しめます！

温泉ファンから高い評価をいただいている千手温泉「千年の湯」。加温も循環もしていない正真正銘、源泉かけ流しの温泉は、薄茶褐色のお湯。湯あたりしにくいお湯は、お肌に絡みつくように、しっとりすべすべに…。
お食事はメニューも豊富で、10店舗の専門店から美味しい料理が選べます！

千手温泉 千年の湯
十日町市水口沢121-7
TEL025-768-2988
営業時間／10:00～22:00
〈年中無休〉

千年の秘佛にこころの願いを託して

山門

苔むす境内

新潟県重要文化財
神宮寺
新潟県十日町市四日町1300
TEL 025-752-3765